

高野村・宝幢寺

小野毛人墓

〔小野氏系図云、毛人は敏達天皇の曾孫妹子の毛野男なり、墓は高野川の北、崇道天皇の社山上二町許にあり。人其所を踏ときは則響をなすの地なり、土人これを怪む事年旧し。慶長十八年癸丑十二月、土人高村政重といふものこれを掘て石棺を得たり、内に金牌一枚あり、其表裏の文左の如し。〕

表文

飛鳥浄御原宮治天下天皇 御朝任太政官兼刑部大郷位大錦上

長二尺許

幅二寸許

裏文

小野毛人朝臣之墓

营造歳次丁丑年十二月上旬即葬

此牌、公命によつて人家に安置すといへども、崇あるによつて、村民恐怖して又元の石棺へ収むといふ。今此金牌の模、高野村宝幢寺観音堂に安置せらる

御蔭山

〔高野村の東にあり。○万水一露云、みあれ山は高野の方にあり、御影山と同所といへり〕

現存六帖

そのかみの御影の山のもろ葉草けふはみあれのしるしにぞとる 中原師光

家集

契りおきてくもらぬ神のみかげ山昔の跡ぞ今もかしこき 為家